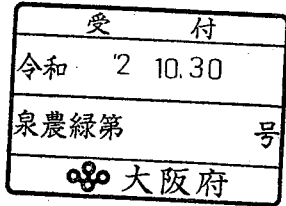


特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 2年10月30日

大阪府知事 殿



提出者

住 所 大阪府泉大津市臨海町2丁目12番

氏 名 株式会社 サンロックオー

代表取締役社長 中西 正

（法人にあつては、名称及び代表者

電話番号 0725-21-6661

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 サンロックオーヨド
事業場の所在地	大阪府泉大津市臨海町2丁目12番
計画期間	令和2年4月1日から令和3年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	金属製品製造業
②事業の規模	5,282百万円
③従業員数	84人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	原材料(線材)→伸線→焼鈍→酸洗(脱スケール)→廃酸(廃塩酸)→業者に委託(委託内容:契約書に基づき運搬・処理を委託)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

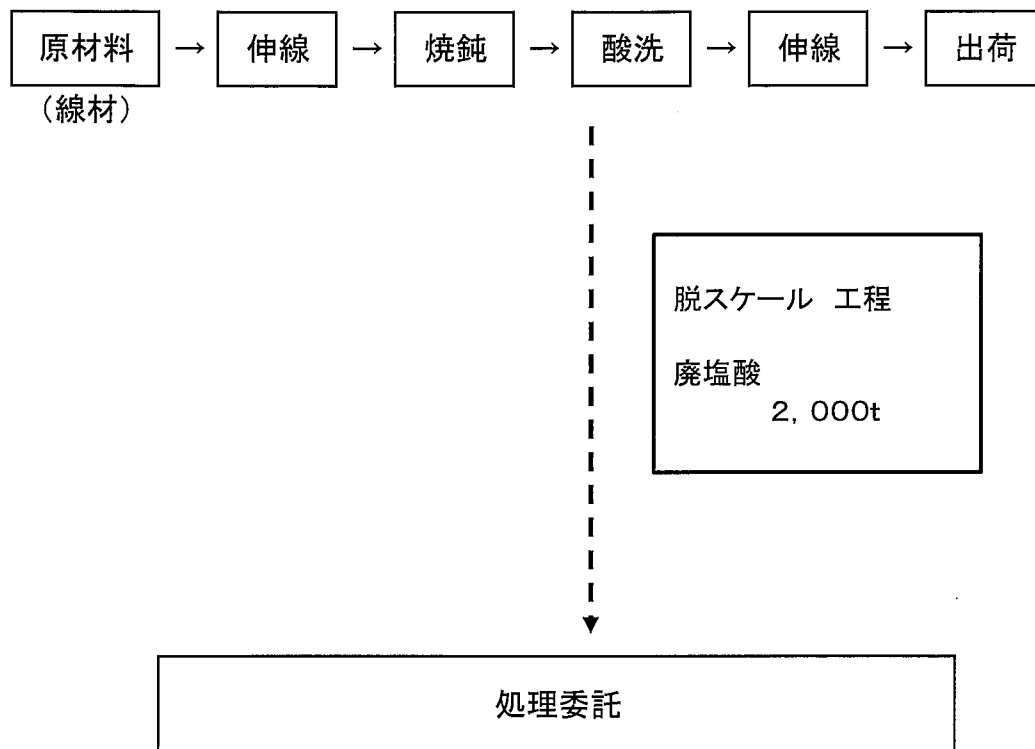
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和1年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃塩酸	
	全処理委託量	2,256 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		

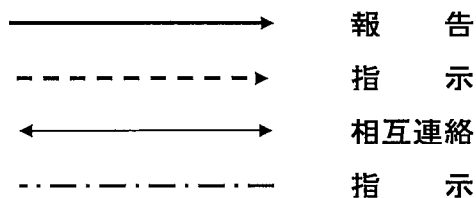
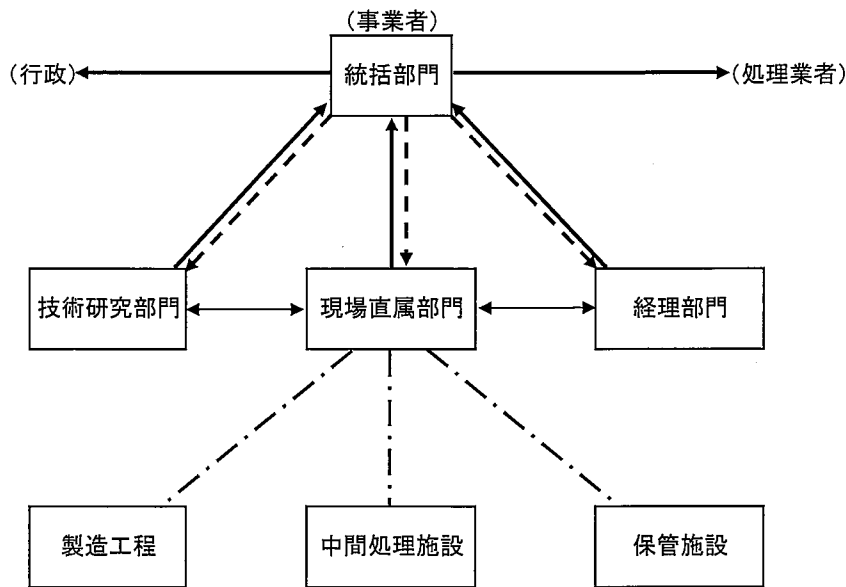
②計画	【目標】		②計画			
	特別管理産業廃棄物の種類	廃塩酸				
	全処理委託量	2,000 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t
	廃酸時の濃度が低濃度（3%程度）になるまで使用					
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（令和1年度）実績】					
	特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	2,256 t				
	(今後実施する予定の取組)					
	特になし					
※事務処理欄						

[産業廃棄物発生工程フロー]



添付資料 管理体制図及び各部署の役割

[管理体制図]



[各部署の役割]

部署	役割
A 統括部門	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の発生から処分に至るまでの帳簿等を作成して統括的に把握管理 産業廃棄物の発生工程、種類ごとの発生量、排出量及び性状等のチェック、集計等 処理施設(事業場内・外)の定期的査察 行政に対する報告等 処理業者委託の委託契約、委託量、委託伝票(マニフェスト)等の管理 産業廃棄物の適正管理及び減量化等に関する社内啓発 各部署間の調整及び指示 廃棄物の資源化・減量化及び適正管理について検討し産業廃棄物処理計画の策定及びその実施
B 現場直屬部門	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握 各現場の施設の維持管理点検等 保管施設での保管量の把握、記録の作成等 中間処理施設の稼働状況の把握、記録の作成等 最終処分場の稼働状況の把握、記録の作成等 産業廃棄物の分析及び環境事象の分析、測定等 上記内容をAに報告
C 技術研究部門	<ul style="list-style-type: none"> 製造工程の研究開発 産業廃棄物処理技術の研究開発 産業廃棄物減量化手法の調査研究 上記内容をAに報告
D 経理部門	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の適正処理費用の算出 委託料金の支払方法による業者管理 上記内容をAに報告